

目標の柱	1	恵まれた自然環境と調和した生活空間の創造
基本目標(政策)	1-2	居住環境の整備・充実を図ります
基本計画(施策)	1-2-5	・町民との協働による景観づくりの推進

	課	係
主管課・係	総合政策課	地域振興係
関係課・係	館岩総合支所振興課	企画観光係
	生涯学習課	文化財係

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①景観に対する意識の高揚により良好な景観形成が図られ、地域の特色をいかした町並みづくりが進められ、観光客等の交流人口の増加、集落機能の維持にもつながる。 ②町内の危険空き家等を解消し、地域の良好な景観の保全と住民の安全で安心な暮らしを確保する。</p>																																																												
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①景観形成重点地区、景観形成推進地区の指定に向けた取組。 ②危険空き家の解消。</p>																																																												
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 伝統的建造物群前沢集落入込客数</td> <td>人</td> <td>15,755</td> <td>7,551</td> <td>7,139</td> <td>※10,000</td> <td>8,833</td> </tr> <tr> <td>B 景観形成重点・推進地区</td> <td>地区</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>※0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>C 特定空き家等数(危険空き家数)</td> <td>戸</td> <td>82</td> <td>76</td> <td>76</td> <td>※65</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		実績値	実績値	実績値	目標値	実績値	A 伝統的建造物群前沢集落入込客数	人	15,755	7,551	7,139	※10,000	8,833	B 景観形成重点・推進地区	地区	0	0	0	※0	0	C 特定空き家等数(危険空き家数)	戸	82	76	76	※65	98	D							<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ④ 下回った</td> <td>コロナ禍により観光客が減少した。</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B ⑤ 大きく下回った</td> <td>住民合意には時間がかかる。</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C ⑤ 大きく下回った</td> <td>記録的な豪雪により損傷を受けた空き家が増加した。</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ④ 下回った	コロナ禍により観光客が減少した。	/		B ⑤ 大きく下回った	住民合意には時間がかかる。	/		C ⑤ 大きく下回った	記録的な豪雪により損傷を受けた空き家が増加した。	/		D		/	
			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																						
	実績値	実績値		実績値	目標値	実績値																																																							
A 伝統的建造物群前沢集落入込客数	人	15,755	7,551	7,139	※10,000	8,833																																																							
B 景観形成重点・推進地区	地区	0	0	0	※0	0																																																							
C 特定空き家等数(危険空き家数)	戸	82	76	76	※65	98																																																							
D																																																													
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																																										
A ④ 下回った	コロナ禍により観光客が減少した。	/																																																											
B ⑤ 大きく下回った	住民合意には時間がかかる。	/																																																											
C ⑤ 大きく下回った	記録的な豪雪により損傷を受けた空き家が増加した。	/																																																											
D		/																																																											
<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはありますか？</p>	<p>・前沢曲家集落の茅葺屋根の補修を定期的に行い、景観保全を図った。 ・管理不全空き家を無くすための啓発チラシの配布を行った。 ・管理不全空き家の所有者に対しては助言を、危険空き家の所有者に対しては指導を行った。</p>																																																												
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<p style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・南会津町空き家等審議会</p>																																																												

【施策の振り返り】

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茅葺屋根の補修による景観保全が図られた。 ・「南会津町空き家等対策計画」に基づく空き家対策を総合的に進め、特定空き家の解消を図った。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所有者の高齢化や町外在住、相続人が近くにいないなどの理由から、新たな空き家が発生しやすい傾向にあるため、適正な管理がされずに危険空き家に進行することが懸念される。
<p>9 本施策の類似性</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>10 本施策の効率性</p>	<p>粘り強く助言・指導を継続することが、危険空き家の解消として有効な手法だと考えている。</p>

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、特定空き家の解消のために、特に冬期間の適正管理について啓発を進める。 ・適正管理が難しい空き家については売却や除却を促す。
-------------------------------------	--

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和5年度新規事業 に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)				
			事業費(千円)				
			令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度予算額	
01	景観づくり推進事業	総合政策課	目的	本町が有する自然・歴史・文化等の地域の特性と調和した景観形成を図るとともに、地域の活性化に資する良好な景観を次世代へ継承する。			
			概要	景観法に基づき策定した南会津町景観計画により、本町独自の良好な景観形成を図った。			
			成果	届出に関する事前相談や計画に基づく指導により、良好な景観が維持されている。			
		地域振興係	問題	大規模開発、建物等の建設については景観計画による誘導が図られますが、地域活性化に資する景観づくりの誘導が必要。			
			対策	①継続 景観形成のための支援(人的支援、金銭的支援等)や啓発活動。			
			事業費	20	592	590	603
			事業費	20	592	590	603
02	前沢集落周辺景観対策事業	館岩総合支所振興課	目的	重要伝統的建造物群保存地区である前沢曲家集落の景観対策事業を行う。			
			概要	前沢曲家集落周辺の景観の維持保全を行った。			
			成果	前沢地区の住民との協働により、歴史的景観の維持保全につながった。			
		企画観光係	問題	保存地区内の道路や側溝、電柱、電線が景観を阻害しており、改善が求められている。			
			対策	①継続 景観に配慮した舗装や石積水路の整備など、良好な景観を整備することで入場者の増加につなげる。			
			事業費	11,000	7,932	1,674	0
			事業費	11,000	7,932	1,674	0
03	危険空き家等除却事業 (空き家等対策事業)	総合政策課	目的	過疎化や高齢化が進み空き家が発生している状況で、空き家条例を策定し適正な管理を図り、地域の良好な景観の保全と住民の安全安心な暮らしを確保することを目的とする。			
			概要	危険空き家等の軒数の減少と、新たな危険空き家の発生の抑止を図った。			
			成果	記録的な豪雪による破損で特定空き家が増加したが、適正管理の啓発や危険空き家の除却は進んだ。			
		地域振興係	問題	所有者等の高齢化や町外在住により、管理不全状態の空き家が増加している。			
			対策	①継続 適正管理の啓発を継続するとともに、全国の事案や先進自治体の事例を参考にしていく。			
			事業費	6,962	7,367	6,848	10,000
			事業費	6,962	7,367	6,848	10,000
04			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
			事業費				
05			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
			事業費				
06			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
			事業費				
07			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
			事業費				
08			目的				
			概要				
			成果				
			問題				
			対策				
			事業費				
			事業費				
事業費の合計(千円)			17,982	15,891	9,112	10,603	